

***** in Residence Kyoto**
～京都の若者と世界の多彩な才能が交流する仕組みづくり～

令和 7 年 8 月 6 日

京都市文化市民局
文化芸術都市推進室文化芸術企画課

- 1 はじめに
- 2 事業目的
- 3 令和 6 年度 of 取組
- 4 令和 7 年度 of 取組
- 5 目指す姿



1 はじめに



アーティスト・イン・レジデンス(AIR)とは

- 国内外からアーティストを一定期間招聘して、滞在中の活動を支援する事業。
- 17世紀のフランスで、優れた芸術家に賞を贈りイタリア・ローマに派遣したことが起源と言われている。
- アーティストのキャリアアップになる取組であるとともに、地域の方々と交流し、まちの活力にもつなげるもの。

京都のAIRの状況

- 京都市では、京都芸術センターが平成12(2000)年の開館当初からAIRを実施。
京都芸術センターは、国内外からアーティストを選定し、制作・滞在場所の提供など活動を支援している。成果は展覧会などを通じて発表され、地域に還元される。これまで、36か国、延べ116人を受け入れている。
- 平成4(1992)年、フランスのAIR施設としてヴィラ九条山が開設。平成23(2011)年、ドイツのAIR施設としてゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川が開設。
- 民間でも、アニュアルギャラリーやBridge Studioなど、多くのAIRの取組がされている。

国内の事例

- 1990年代から関心が高まり、まちづくりの観点で影響が大きい事例として、神山アーティスト・イン・レジデンス(徳島県)、城崎アーティスト・イン・レジデンス(兵庫県)などがある。

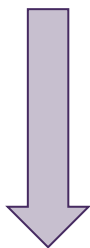


2 事業目的



これまでから取り組んできた

Artist in Residence



＊(アスタリスク):無限の可能性

***** in Residence Kyoto**

国内外の多様な人材の交ざり合いを促し、まち全体の創造性が高まることを意図

(参考)

新京都戦略のリーディングプロジェクト「世界中からクリエイティブ人材がつどい・交じる「テラス」のまちプロジェクト」該当事業

*** in Residence Kyoto (アスタリスク・イン・レジデンス)

創造的な滞在を受け入れる仕組みづくりとして、
公民連携により実施するプロジェクト(令和6～7年度:モデル事業)

【目的】

- ✓ アート分野に限定せず、建築や文学、工芸や料理、そしてスタートアップなどビジネス領域も含めて世界各地のクリエイターを対象とする
- ✓ 遊休施設の活用を促し、滞在可能な受入先を増やす
- ✓ 海外から京都に来たクリエイターと、京都のクリエイターや住民との交流を促し、互いに創造性を高めあう

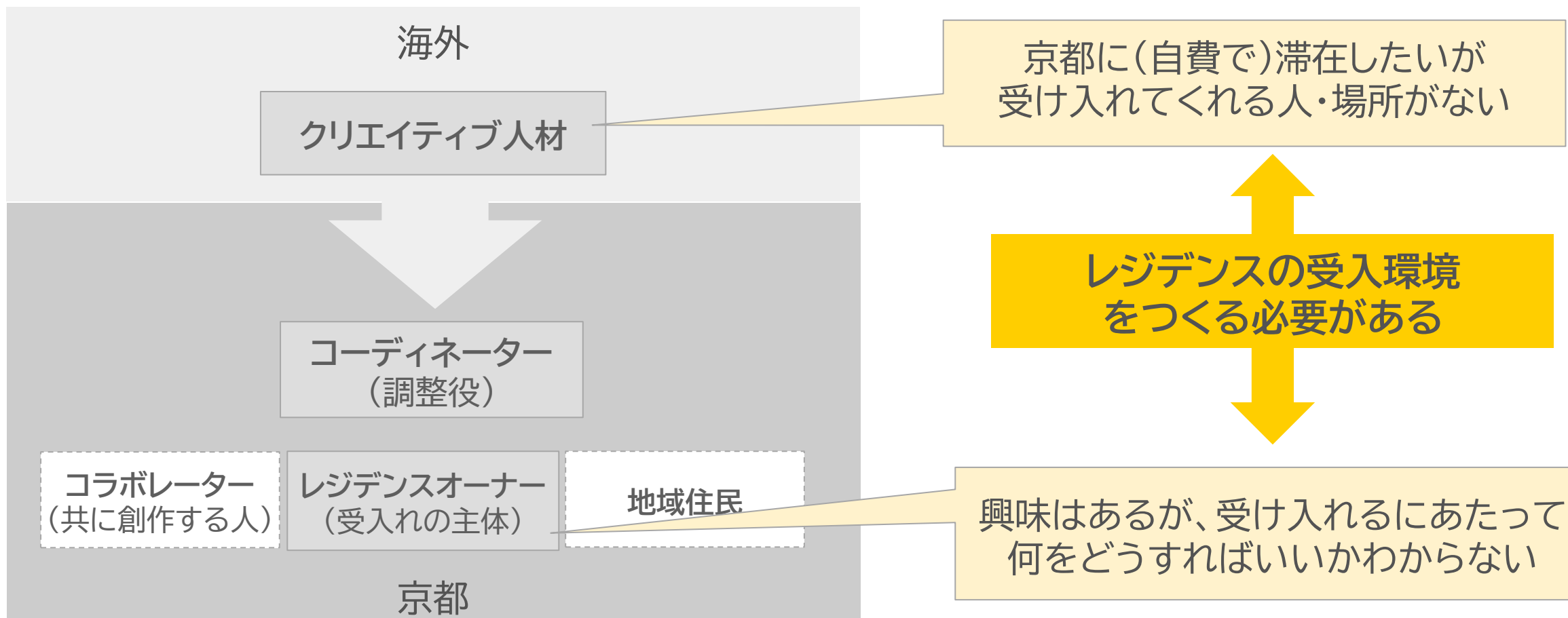


背景

- 京都市内では、公民問わず様々な施設・団体において海外からのクリエイティブ人材を受け入れ、一定期間滞在し、創作活動を行うアーティスト・イン・レジデンスが行われている。
- 京都の神社仏閣、自然、文化などからインスピレーションを受け、イノベーションを創出したいと考える海外のクリエイティブ人材が多数存在する。
- しかし、彼らを受け入れ、持続的な知的交流を行うための仕組みや施設、人材が不足している。
- また、滞在する海外クリエイターと京都の若者・地域が交流する仕組みが不足しており、創造的な交ざり合いが行われる機会を逸している状況。

現状認識

アートに限らず、様々なクリエイティブの分野で京都への滞在ニーズが存在しているにも関わらず、京都側で受入れのノウハウやネットワークを持つレジデンスオーナー（受入先）が不足している。





3 令和6年度の取組

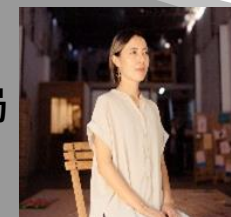


3 令和6年度の取組

(1) *iR事務局の構築

既にレジデンス受入れ
の実績を多く有する
Bridge Studioの杉田真理子氏を
中心にプロジェクトチームを構築

事務局



サポートクルー7名
(大学生)

(2) モデル事業の実施

レジデンスオーナー／施設		滞在したクリエイター／分野
1	杉田 真理子((一社)for Cities共同代表理事) ／Bridge Studio	ツァイ・シー・シャン(台湾) ／アーティスト・キュレーター
2	山口 ケイコ((株)山口書店代表取締役 社長) ／山口書店、ISBN8411	マヤール・サラマ(エジプト) ／都市計画家・デザイナー
3	都地 耕喜(EVER(株)代表取締役) ／Share Office & EVER	パリトシュ・ゴエル(インド) ／建築家・起業家
4	高室 幸子((一社)パースペクティブ共同代表) ／PERSPECTIVE、工藝の森	マキシム・ベラウネ(フランス) ／家具職人・彫刻家

モデル事業参加者



(3) ミートアップの実施

京都市内のレジデンス事業
者のネットワークを構築す
るため、ミートアップ3回、
最終報告会1回を実施



レジデンス事業に関心のある事業者

令和6年度の取組からの気づき・発見

地域と海外クリエイターの交流によって、世界中のクリエイティブ人材から刺激を得られ、また京都の新たな魅力・価値の再発見につながる等、今後の展開への可能性を感じることができた

- レジデンスオーナーに関心を持つ人を掘り起こし、機運を醸成することができた
- 事業に関心を持つ学生を増やすことができた
- モデル事業を通じて、レジデンスオーナーに、今後も継続していくためのノウハウを提供することができた
- クリエイターを受け入れるうえでコーディネート機能が重要(どこへ行くか、誰と会うか)
- 専門知識を持った専門家(不動産、法律関係)への相談が必要
- 多様なクリエイターがアクセスする窓口の整備が重要
- ミートアップに実施やリサーチにより、良質な取組を実施しているレジデンス施設が多数あることがわかった



4 令和7年度の取組



今年のポイント

開催期間
令和7年9月27日(土)
～10月4日(土)

「ニュー・ブランシュKYOTO ‘イン・レジデンス’」の開催

現代アートの祭典「ニュー・ブランシュKYOTO」が本事業と連携し「ニュー・ブランシュKYOTO ‘イン・レジデンス’」として特別開催が決定！

アーティスト・イン・レジデンスに焦点を当て、フランス人アーティストが約1か月間京都に滞在し創作成果を披露。期間中、参加レジデンス施設を一般公開するなど、特別なアートプログラムを展開します。

クリエイターの受入れをサポートする専門家相談会の実施

海外クリエイターの受入れやレジデンス運営に関心のある方を対象に、弁護士による個別法律相談会を毎月開催します。

また、京都R不動産代表による不動産に関する合同相談会も毎月実施し、遊休施設の活用やレジデンス立上げの疑問に専門家が答えします。

ユースコーディネーター(大学生)
が滞在中のクリエイターをサポート
します！

多様なクリエイティブ人材を呼び込むモデル事業の推進

今年度は、市内6か所に実施場所を拡大し、アートに限らず、ファッション、エンジニアまで幅広い分野のクリエイティブ人材をお迎えし、モデル事業を実施します。

1 レジデンス施設のスタートアップ支援

今年度は、6か所、新たにレジデンスを始めたい施設を支援する。また、令和6年度に海外クリエイターを受け入れた施設には、自律運営に向けたフォローアップを行う。
(※NBK:ニューブランシュ京都で選考したアーティスト)

【北区】船岡山公園／STUDIO MONAKA



ジュール・ゴリアット(フランス)
分野:造形作家

※NBK

【上京区】元西陣織工場／MAGASINN KYOTO



ポール・ボンヌヴィル(フランス)
分野:ファッションデザイナー

※NBK

【左京区】くろ谷 金戒光明寺



ズン・エイ・ピュー(ミャンマー)
分野:医療／演劇

【中京区】(有)ひのでやエコライフ研究所



コナー・カーク(アメリカ)
分野:エンジニア

【下京区】つくねとminch



ジャン・ダビッド・ノット(カメルーン)
分野:画家／歴史家

【洛西】大原野ギャラリー



キム・テヒョン、ファン・ジュヒョン(韓国)
分野:映像作家、写真作家

4 令和7年度の取組

2 海外クリエイターと若者・地域との交流促進

海外クリエイターと若者・地域との交流を円滑に進めるためのコーディネート機能を強化する。

ユースコーディネーター

市内在住・在学の大学生を対象に、本事業に関わる若者を公募により6名選定！

海外クリエイターの滞在中のサポートはもちろん、世界と京都をつなぐ多様な交流を生み出すためのさまざまな企画・運営も担います。



3 交流会(ミートアップ)の実施

レジデンスオーナーや本事業に関心を持つ方々との交流会を開催し、新規オーナー候補の発掘やネットワークを構築する機会とする。

第1回開催

ミートアップのご案内

事業説明、モデル事業紹介、交流会 等

日時： 8月26日(火) 18時30分～20時30分

会場： 松栄堂 薫習館

詳細は
公式Instagramからアクセス！



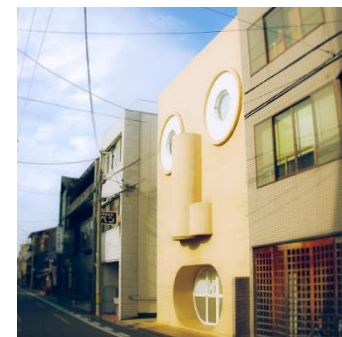
4 オープンデー／スタジオの実施

本プロジェクトに関心のあるレジデンス施設、ギャラリー、スタジオ等と連携し、施設内や展示の見学をしていただける日を設ける。オープンデーは、ニューブランシュ京都の初日である9月27日に実施。参加施設は8月1日時点で23か所。

参加施設

	名称	場所
1	船岡山公園／STUDIO MONAKA	北区
2	MAGASINN KYOTO	上京区
3	すごすセンター	上京区
4	Oboro	上京区
5	black cat day dream	左京区
6	Caracois	左京区
7	Long Slow Distance	左京区
8	Share Office & House EVER	左京区
9	Bridge Studio	左京区
10	メトロポリタン福寿創	左京区
11	熊間(Kuma)	中京区
12	FACE HOUSE KYOTO	中京区
13	(有)ひのでやエコライフ研究所・ゼロエネオフィス壬生	中京区
14	soda	中京区

	名称	場所
15	ノーガホテル 清水 京都	東山区
16	五条坂清水	東山区
17	BnA Alter Museum	下京区
18	河岸ホテル	下京区
19	FabCafe Kyoto	下京区
20	京都 蔦屋書店	下京区
21	HOTEL SHE, KYOTO	南区
22	STUDIO KAN	右京区
23	PERSPECTIVE Residence Fuu/風	右京区京北





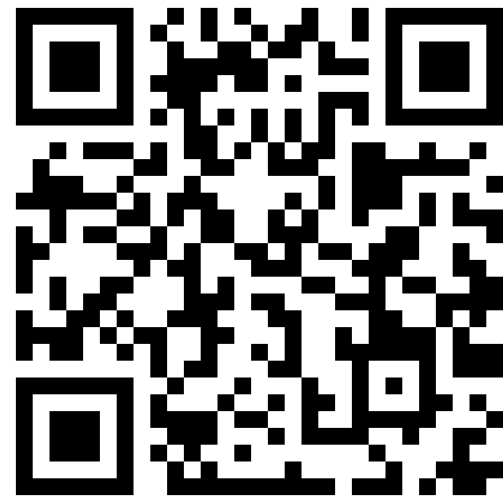
5 目指す姿



海外のクリエイティブ人材の受入環境を充実させる仕組みを構築し、京都での知的交流を促すことで、世界と京都のクリエイティビティの向上に貢献する。



*** in Residence Kyoto



京都発の創造的滞在を考える

Designing Creative Stays in Kyoto



ご清聴ありがとうございました。

本件に関する問い合わせ先：

京都市文化市民局
文化芸術都市推進室文化芸術企画課

電話：075－222－3119